

羽織袴、ジャラビア、それぞれの民族衣装を着て



無東西

昨今、イスラム国なるものが出現して、世の中を混乱に陥らせていましたが、今後は如何にイスラムを理解していくのかが、大事になってくると思います。そのためには我々の祖国、日本のことも知つてもらう必要があります。そんな意図からハルツーム大学の図書館内に日本文化センター「無東西」を京都の方々のご協力を得て建設いたしました。この「無東西」

スー丹政府のNGOに対する厳しい規制の中、医療を中心に活動を継続しております。これも、ロシナンテスを応援してくださる全ての方々のおかげです。心より御礼申し上げます。小児科医の宇都宮剛、助産師の田中香子、そして臨床工学技士の坂野誠がスー丹のメンバーに新たに加わりました。

昨年、来日したフセインがスー丹人スタッフのリーダーとして活躍し、インティサールは無事に出産を終え仕事に復帰しております。また、新たにインド系（両親がインド人です）のスー丹人医師ディーナがハルツーム州保健省からロシンテスに来ています。

イスラム世界に「無東西」

新たな仲間

スー丹政府のNGOに対する厳しい規制の中、医療を中心に活動を継続しております。これも、ロシナンテスを応援してくださる全ての方々のおかげです。心

より御礼申し上げます。小児科医の宇都

宮剛、助産師の田中香子、そして臨床工学

技士の坂野誠がスー丹のメンバーに新たに加わりました。

昨年、来日したフセインがスー丹人

スタッフのリーダーとして活躍し、イン

ティサールは無事に出産を終え仕事に復

帰しております。また、新たにインド系

（両親がインド人です）のスー丹人医師

ディーナがハルツーム州保健省からロシ

ンテスに来ています。

《第12号》

認定NPO法人ロシナンテス
日本事務局発行

〒802-0082

北九州市小倉北区古船場町1-35

北九州市立商工貿易会館 7F

TEL:093-521-6470

E-Mail:info@rocinantes.org

特定非営利活動法人ロシナンテス
ROCINANTES

遠回り

の名称ですが、ロシナンテスサポートである方の御父様が戦前、「立ち位置を換えればこの世に東も西もない」と若い兵士に説いていたそうです。

南北で内戦をしていたスー丹です。時空を超えてこの言葉が生きていると感じ、頂戴いたしました。震災の年に南北スー丹の子供達を日本に連れてきた際、清水寺を参拝した経緯があり、清水寺の貫主の森清範様に揮毫していただきました。森貫主は「東も西も人が決めたもの、天が決めたものではない、その意味で謙虚に生きていかなればならない」と仰っていました。

京都から杉本工務店様が来てくださいました。さらに、日本の文化を紹介する本を多くの方々に寄贈していただきました。誠にありがとうございます。スー丹の国に、畳、障子、床の間、掛け軸などの日本の伝統文化があります。スー丹の人々が日本の文化に接し、日本の人々がイスラムの文化を理解する。「無東西」はそのような文化の交流の場にしていきたいと思います。

特に、ロシナンテス東北の「寺子屋亘理」から中学二年生の太田強君が参加してくれ、地元の「えんころ節」を声高らかに歌いました。尺八を吹いた東北の「健康農業」に参加している三戸部さんは68歳にして初めての海外でした。そして、御年82歳！私の恩師である柴田先生が一番元気にされ、ナイル川の岸边でスー丹の太鼓の音色に合わせ日本の民謡を謡う様は、全ての人を笑顔にしました。

次回のスタディツアーは、これを読みの皆さんも、ぜひ参加されてはいかがでしょう。これからも、スー丹の人々、東北の人々、そして皆様方と共に力をあわせ、医療を中心とした活動を継続してまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。（川原尚行）

スー丹事業部のロシナンテスメンバー

スー丹からの4名を含む総勢23名の方に参 加していただきました。ロシナンテスの活動紹介、在スー丹日本大使館員とJIC A職員とのワークショップ、ロシナンテスの活動地視察、ナイル川クルーズ、そして「無東西」の開所式と多くのイベントを通じて、ロシナンテスとスー丹を理解していました。

東北からの4名を含む総勢23名の方に参 加していただきました。ロシナンテスの活動紹介、在スー丹日本大使館員とJIC A職員とのワークショップ、ロシナンテスの活動地視察、ナイル川クルーズ、そして「無東西」の開所式と多くのイベントを通じて、ロシナンテスとスー丹を理解していました。

特に、ロシナンテス東北の「寺子屋亘理」から中学二年生の太田強君が参加してくれ、地元の「えんころ節」を声高らかに歌いました。尺八を吹いた東北の「健康農業」に参加している三戸部さんは68歳にして初めての海外でした。そして、御年82歳！私の恩師である柴田先生が一番元気にされ、ナイル川の岸边でスー丹の太鼓の音色に合わせ日本の民謡を謡う様は、全ての人を笑顔にしました。

次回のスタディツアーは、これを読みの皆さんも、ぜひ参加されてはいかがでしょう。これからも、スー丹の人々、東北の人々、そして皆様方と共に力をあわせ、医療を中心とした活動を継続してまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。（川原尚行）



地元紙に大きく取り上げられた「無東西」の開所式



スタディツアーの様子



「無東西」に集まるハルツーム大学の学生や関係者



スー丹事業部のロシナンテスメンバー

巡回診療の視察の様子



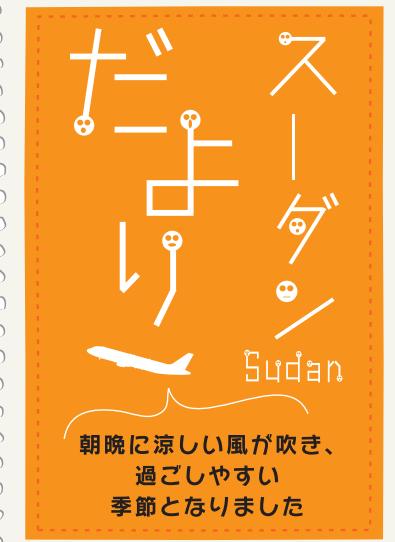
ロシナンテスは2013年6月より首都ハルツーム州のワドアブサーレ地区で、医療施設の無い32村（対象人口約2万人）に対しても巡回診療事業（モバイルクリニック事業）を協力機関であるシャルガニール保

健省のもと開始しました。その中で、より具体的な現状把握と計画を立てるため、2013年12月に人口分布や生活環境を調べる大規模な調査を実施しました。

現在、巡回診療チーム（モバイルクリニックチーム）は32村を2週間かけて回り、妊婦健診・乳幼児健診・予防接種・一般診療などを提供しています。2013年6月の巡回診療開始当初は約1500人であった利用者数が、2014年10月は2000人に達するなど、少しずつ巡回診療の認知度が高まってきた事や、以前は乳幼児健診に来なかつたお母さんへの健康教育、妊婦さんや産後の

巡回診療から更なる充実をめざして

巡回診療事業



医療活動、学校・教育事業、水・衛生事業、交流事業、スポーツ事業への取り組みを報告します。

んと進んでいる事が実感でき
るようになりました。

しかし、巡回診療を行うス
タッフにとって、2週間自分達

の家に帰る事なく厳しい環境の
中で働き続ける事はとても過酷

です。また、巡回診療だけでは緊
急の場合の対応が不十分であ

り、また継続して患者さんを診
届けるには限りがあります。こ

のような現状と2013年の調
査の結果をもとに、大きな3つ
の目標を立てました。

1：現在のモバイルクリニック
(巡回診療チーム)の更なる技
術向上

2：村にある既存の小さい診療
所(ディスペンサリー)の改善・
再建

3：村から病院への搬送システ
ムの構築

これら目標を掲げると同
時に住民への健康教育にも力
を入れ、医療関係者が一方的に
医療を提供するだけでなく、住
民全員が医療の必要性や生活
環境の改善に自分達でしっかりと
取り組めるように働きか
けています。



モバイルクリニックスタッフの予防接種
担当者へ知識の確認をしている様子

このドクターカーには自動
血圧測定機や心電図、超音波
検査が備え付けられています。
また離れたところにいる
医師と通信できるシステムも
導入されています。ロシナン
テスではこれらの機能をもつ

この事業ではドクターカー
を数ヶ月間使用して良い点や
改善すべき点を検証していく
ます。実際に使ってみてわ
かることもあります。医療者と患者さん
の両方にとつてより使いやす
く、役に立つドクターカーを
つくりあげていくために検証
してまいります。



現在、巡回診療チーム(モバ
イルクリニックチーム)は32村
を2週間かけて回り、妊婦健
診・乳幼児健診・予防接種・一般
診療などを提供しています。2013年
6月の巡回診療開始当初は約1500人であつた利用者数が、2014年10月は
2000人に達するなど、少し
ずつ巡回診療の認知度が高
まってきた事や、以前は乳幼児
健診に来なかつたお母さんへ
の健康教育、妊婦さんや産後の
お母さんへの家庭訪問がき
ちの聞き取り、村のリーダーとの
行い、より詳しい医療関係者へ

(母子保健・助産師／田中香子)

ロシナンテスが巡回診療を行
っている村々にも診療所が
点在しています。しかし、そこ
でできる検査は血圧測定や簡
単な血液検査に限られています。
この状況を改善するため
に、日本の企業が開発を手が
けたドクターカーというもの
があります。このドクターカー
ができます。このドクターカー
は国際協力機構助成事業
でスーザンに7台導入され、
ロシナンテスではこれらのう
ち1台を使用することにな
りました。



今年10月にはこれから改善・
再建する3つの診療所の候補
地を人口と周辺の村の状況を
踏まえて考え、現地での視察を
行ってきました。

(巡回診療担当医師・
宇都宮剛)

期待の星！ドクターカー

スポーツ事業・歯科検診

本当に子供達は元気なのか？

スポーツ事業はスーザンで青少年育成を目的とした少年サッカー教室を設立、運営しています。ある日、サッカー教室に通う子供達の全員が自身の身長や体重を知らないということを知り驚きました。

教育の場として「ロシナンテス杯」を開始！



青空の下で歯科検診をする藤瀬氏（左）と原田氏（右）

はじめまして、スーザン事業部副代表の宇都宮剛です。愛媛県出身で、2014年3月まで12年間、小児科医として働いてきました。同年5月からロシナンテスに入り、同年7月からスーザンに赴任しています。スーザンでは日本と違うことも多いのですが、その違いも楽しみながらスーザンの人達とともに歩んでいきたいと思います。



経産省関連の事業で、ニプロ株式会社より出向でロシナンテスに参加させて頂いております。

スーザンの透析の現状の調査と技術指導として参りました。十分ではない設備の中で、工夫を凝らして何とか持続させている姿は非常に勉強になります。スーザンの透析患者さんが少しでも良い環境の中で治療を受けられるよう努力して参ります。



10月よりスーザンに赴任しました。遠く文化も気候も全く違う国ですが、笑顔や優しさ、おもてなしの心に感動する事が多いです。真面目で家族を大事にする事や、いつも笑顔の人々に心が救われる時もたくさんあります。村の人達と自由に話せるようにアラビア語を頑張りたいと思います。

明日の子供達の笑顔のために

供達に身長・体重測定をしたところ彼らは大はしやぎ！体の成長をひとつ知るだけで大きな変化を起こせることを実感した私は、2014年5月歯科検診を含めたサッカー大会を「ロシナンテス杯」と名付け、ハルツームの5つの地域で開始しました。

しかし、実際私が、サッカー大会を通じて歯科検診を行うためにハルツーム州保健省に連絡を取ったところ、前例がないと断られました。唯一、ロシナンテスと医療分野などで学術提携するハルツーム大学の歯学部が「子供達の教育のために」と協力してくれました。

そして日本から2名の歯科医師をスーザンに招き、サッカー場の空間に机と椅子だけが用意された所で、ロシナンテス杯に参加した少年少女711人に、歯科検診と歯ブラシ指導を行ない、歯ブラシもプレゼントしました。

様々な問題を抱えるスーザンで、なぜスポーツ事業なのかと思う人もいるかもしれません。スーザンで人気のあるサッカーを切り口にすることで子供達の学ぶ姿勢が自発的となり、健康が増進されます。そして、地域でサッカー大会をすれば地域住民の結束も強まり、この事業が地域にもたらす効果は計り知れないものとなりました。

（スポーツ事業部／田中三千太郎）



子供達にサッカー指導をするスポーツ事業部・田中

スポーツの力！



2014年7月からその調査を開始しており、8月からはニプロから1名がスーザンに常駐し、また同じく8月にはセントラルユニから4名がスーザンに来て一緒に調査をおこないました。調査の結果、

（巡回診療担当医師・宇都宮剛）

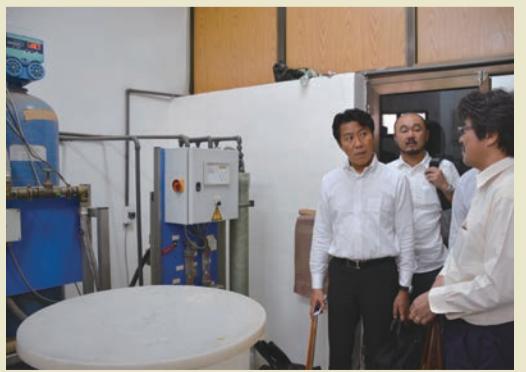
スーザンに病院を日本医療をスーザンへ

「スーザンに病院を建てよう！」これはロシナンテス代表である川原のかねてからの目標です。さらにその病院で得たお金を地方やへき地でおこなっている巡回診療事業で使用するといった、持続可能なシステムを作っていくことを目指しています。

今、その目標が現実味を帯びてきています。スーザンでは腎臓が悪くなり人工透析をしている。ここに着目した必要とする人の数が年々増加しています。ここに着目したロシナンテスはスーザンに透析センターをつくることを考えました。まずは透析センターをつくることができるかどうか、存続させていくかどうかの調査が必要です。そこでロシナンテスは病院の配管システムを手がける株式会社セントラルユニ・医療機器メーカー・飯塚病院と協働し、経済産業省の「平成26年度医療機器・サービス国際化推進事業」に応募し採択されました。

スーザンの公立病院では患者さんが透析を無料で受けることができ、その一方で民間病院では高い金額を払っていることがわかりました。お金を持つている人は民間病院で透析を受け、そうでない人は公立病院で透析を受けています。この結果から透析センターを設立し、存続させていくことは難しいと判断しました。

さて、その代替案として考えられたのは：次号をお楽しみに。



公共病院での透析設備の視察

新しい仲間と大根収穫!



会場を埋めつくした来場者(健康農業納涼祭)



子供からお年寄りまで熱気あふれる納涼祭

この秋「毎週みんなと会えて嬉しい」という参加者の声が、これまで以上に聞かれました。亘理町では自宅を再建された方や災害公営住宅の完成などで仮設住宅から転居される方が急増しています。仮設住宅のコミュニティから離れる寂しさや新しい環境への戸惑い、孤立化への不安があるようです。また震災後、仮設住宅の別々の部屋で暮らしていた家族と再び同居する事で「精神的自立」を失うことを心配されている方もいらっしゃいます。「健康農業亘理いちご畑」は活動を通して参加者の不安を少しでも軽減させ、これから始まる新しいコミュニティを築いていく上で、とても大切な「心と体の健康維持」を参加者と共に追求してまいります。

(平林由紀夫)

「健康農業亘理いちご畑」で、今年度に入り亘理町内にある全ての仮設住宅で新規参加者を募り、新たに17名の方が活動を開始しました。この中には、最年長となる89歳のおばあちゃんもいらっしゃいます。参加者総数が58名に増えたことで畑の拡充も必要になりました。幸い

にも地元の方のご好意により、東北事業部の近隣にある休耕地を無償でお借りすることができます。長い間使われていなかつた畑には、雑草の根が張りつめ草取り作業も大変でしたが、参加者の方々が協力して開墾を進め、6月にはきれいに並んだ畝にサツマイモの苗を

8月には「健康農業亘理いちご畑」の活動を地域の方々に知つていただくためのイベント「健康農業納涼祭」を亘理町の仮設住宅で開催しました。当

日は、開場前から列が出来るほど

新たにコミュニティの始まり



司会を「健康農業亘理いちご畑」の参加者に行つていただき、和やかな雰囲気でイベントは進められました。また、来場者同士が久しぶりの再会を喜んだ。このイベントは仮設住宅から散らばってしまったコミュニティの再会の場にもな

りました。

この秋「毎週みんなと会えて嬉しい」という参加者の声が、これまで以上に聞かれました。亘理町では自宅を再建された方や災害公営住宅の完成などで仮設住宅から転居される方が急増しています。仮設住宅のコミュニティから離れる寂しさや新しい環境への戸惑い、孤立化への不安があるようです。また震災後、仮設住宅の別々の部屋で暮らしていた家族と再び同居する事で「精神的自立」を失うことを心配されている方もいらっしゃいます。「健康農業亘理いちご畑」は活動を通して参加者の不安を少しでも軽減させ、これから始まる新しいコミュニティを築いていく上で、とても大切な「心と体の健康維持」を参加者と共に追求してまいります。

多くの高齢者は「仕事」を失い「コミュニティ」が減少している存在です。「仕事」を失うことは「役割」を失うことと同じ、「コミュニティ」を失うことは「地域とのつながり」を失うことに通じます。

「健康農業」は高齢者たちが失った「役割」と「地域とのつながり」を提供するもので、高齢者の心身の健康維持につながるものだと考えます。これは被災地に限らず日本全国の高齢者に当てはまる



馬の目

「被災地東北から」

大嶋 一馬

ロシナンテスをご支援く

ださつているみなさま、いつ

もあります。今

回は少し趣向を変えて、東北

から見える日本について考

えたいと思います。

現在、東北事業部では震災

で住宅を失った高齢者を対

象に『健康農業』事業を実施

しています。(内容について

は、「遠回り」8号~10号、ホー

ムページをご覧ください)私

の人生でそれほど気になる

ことはできません。これまで

通り被災地の高齢者のケア

をしつつ、新たな目標に向

かって進まなければなりま

せん。

それもこれもみなさまの熱いご支援、ご協力があつてわたしたちは前進することができます。これからもよろしくお願い申し上げます。



寺子屋 閑上・亘理

明日の子どもたちの笑顔のために その時まで。寄り添い、歩む。

震災から間もなく4年。子どもたちを取り巻く環境に変化がみられます。

たが、26年9月末には640戸と減少しています。

平成26年4月。「寺子屋閑上（ゆりあげ）」「寺子屋亘理（わたり）」の双方合わせて約80名いた生徒が、同年12月には約50名に減少しました。災害公営住宅に入居したり、住宅再建をした家庭が増えたためです。例えば「寺子屋亘理」を実施している宮城県亘理町。震災直後は1070戸もの家庭が仮設住宅に暮らしていました。

日々の勉強だけではないのが、ロシナンテスが実施する学習支援「寺子屋」の特徴です。

平成26年7月、仮設住宅からの転居等で寺子屋に来られなくなつた小学生も含め、第9回寺子屋交流会「夏山と青空のプレーパーク in 藏王」を実施しました。

両寺子屋から25名が集まり、1泊2日で宮城県「藏王自然

の家」に泊まりに行きました。川でニジマスつかみをしたり、森の中を探検したり、夜には肝試しをしたり。

「自分一人では魚を捕れなかつたけど、友だちが協力してくれて捕れました」、「肝試しが怖かった。夜寝る時も怖心だった」という感想や、「久しぶりに寺子屋のみんなと遊べて楽しかった」と寺子屋卒業生の女の子。友だちとあつた。という間の2日間を過ごしました。

寺子屋を実施する地域の全員が仮設住宅を退去できるの

は、平成30年3月頃だとされていますが、未だ先行きは不透明なままで。震災前の元のコミュニティが津波により壊され、仮設住宅で出来あがつた強い絆を持つコミュニティが、仮設住宅を退去することにより再び崩壊します。

しかし、「寺子屋」があり続けることで、いつでも一つの場所に集まれるという安心感を持て、心の拠り所となります。震災直後から現在に至るまで、子どもたちと築いてきた関係。今後も必要とされる限り、子どもたちの居場所を守り続けていきます。



震災から4度目となる夏休み
友だちと一緒にキャンプを楽しみました！



子ども同士で学び合い

（綾田早美）

スタッフ紹介



白井 幸美
健康農業担当

東日本大震災の津波を海の目前で体験し、色々な経験を経て、今年4月から健康農業のスタッフとして勤めています。地元、亘理・荒浜育ちの浜っこです。家は漁師で、農業経験はゼロですが毎日学びがあり新鮮で楽しい職場でした。家庭の事情により12月で退職いたします。短い間でしたがありがとうございました。

閑上復興祈願祭

10月19日(日)、名取市閑上地区日和山で、震災から4回目の閑上湊神社秋の例祭・閑上復興祈願祭・閑上復興いも煮会が行われ、当日の運営をサポートしました。お祭りにご支援をいただいている大阪うつぼロータリークラブの堤会長、土井さん、村西さんが、ロシナンテスからは川原、大嶋が閑上住民の方々と共に神輿を担ぎました。



今の町の姿で最後となる神輿を担ぎました

東北復興支援用の寄付口座ができました。

【銀行名】西日本シティ銀行
【店名】三萩野(ミハギノ)支店
【店番】032
【預金種目】普通預金
【口座番号】2135060
【口座名】特定非営利活動法人ロシナンテス

復興への道のりは、まだまだ長いものですが、わたしたちは目の前の住民の方と共に一歩ずつ歩んで参ります。皆様のお力添えを頂けます様、お願い申し上げます。

東北事業部ブログ更新中!!

<http://tohoku.rocinantes.org/>

日々の活動やイベント情報などを更新してまいります。ぜひご覧ください。

研修や視察、ボランティアへのご参加等、随時受け付けております。まずはお気軽にお問い合わせください。

0223-35-3866
info@rocinantes.org

東北へ足を運んでみませんか？

おしらせ



ロシナンテス東北事業部・復興支援ブログ
『わたしたちは、ここにいる。』

「来訪者の体験記より」

「ここで暮らすなかで一番学んだこと、それは『復興は終わっていない』ということです」「数字では津波の高さや距離、家が流されたことを知っていた。つもりだった。知識と実際の感覚では全く違うことを感じました」



国内の活動

わっしょい百万夏まつり

2014年8月2日(土)・3日(日)
ロシナンテスブースを出展しました



8月2日(土)、3日(日)に開催された「わっしょい百万夏まつり」にロシナンテスブースを出展し、ケバブサンドの販売と、スーダンの紹介を行いました。

「わっしょい」への出展は今年で6年連続となります。毎年、同じ場所にブースを構えており、「ここでロシナンテスのケバブサンドを食べることを今年も楽しみにしていた」というお客様もおられ、温かい気持ちになりました。

今年は、理事長・川原が初めて「わっしょい」に参加しました。「スーダン体験コーナー」では、スーダンの砂漠の風景を大伸ばしにしてブースの内側に張り、スーダンの音楽を流し、スーダンのグッズを展示し、スーダンのドライブルーツやコーヒーなどを来場された方々にふるまいました。ロシナンテス支援者の方々は、体験コーナーでくつろぎながらゆつくり川原と話をすることができ、満足されたのではないかと思います。

今年は2日間で、ボランティアをはじめとする延べ71人のスタッフにお手伝いいただき、とてもスムーズにブースを運営することができました。

活動に合わせて、「わっしょい」への参加を継続して行うことも重要だと思っています。

(ロシナンテス理事・武藤義博)

た。あいにく、天候は両日とも雨模様でしたが、雨にも負けず2日間で838個ものケバブサンドを販売することができます。悪天候にもかかわらず、足を運びケバブサンドを買つてくださった皆さま、ありがとうございました。そして、お手伝いいただいた皆さん、本当に疲れ様でした。ありがとうございます。毎年ケバブ号をお借りし、ケバブソースをご提供いただいているハリッドさんにも心から感謝いたします。

毎年、このイベントに関わさせていただき、毎年毎年「わっしょい」でのロシナンテスの認知度が上がってきていることを実感しています。地元北九州において、様々な形でロシナンテスの活動を継続していくことの重要性を再認識するとともに、このような機会を通じて、ボランティアスタッフや支援者の方々との交流を今後も大事にしていくたいと思います。

今後も続くロシナンテスの活動に合わせて、「わっしょい」への参加を継続して行うこと



「絶対にあきらめない」

ゼインくん
ゼネラルアブディーン
عبدالرحمن بن العطاء العبد



日本に来て、自分の夢を叶えたい気持ちがもっと大きくなりました。川原さんやロシナンテスのスタッフの皆さんに僕に日本に来るチャンスを与えてくれて、本当にありがとうございます。日本でのゼインのお父さんである海原さんにいつも迷惑をかけて、申し訳なく思っています。これだから大学に入つて、いろいろ御心配をかけることもあります。

日本に来て、自分の夢を叶えたい気持ちがもっと大きくなりました。川原さんやロシナンテスのスタッフの皆さんに僕に日本に来るチャンスを与えてくれて、本当にありがとうございます。日本でのゼインのお父さんである海原さんにいつも迷惑をかけて、申し訳なく思っています。これだから大学に入つて、いろいろ御心配をかけることがあります。



体育祭でのひとコマ



2015年版ロシナンテスカレンダー、現在好評発売中です！
今年は卓上カレンダー（1種類）を販売しております。ご購入はホームページから、または日本事務局までご連絡ください。

また、ロシナンテスをより多くの方に知って頂けるように、ポスター（非売品）／B2サイズ）を制作いたしました。お店や会社、学校など、多くの方々の目に留まる場所に貼ってご協力くださいる方を募集しております。（ロシナンテス日本事務局／093・521・6470）

ロシナンテス活動力カレンダー2015

2015年版ロシナンテスカレンダー、現在好評発売中です！
今年は卓上カレンダー（1種類）を販売しております。ご購入はホームページから、または日本事務局までご連絡ください。

また、ロシナンテスをより多くの方に知って頂けるように、ポスター（非売品）／B2サイズ）を制作いたしました。お店や会社、学校など、多くの方々の目に留まる場所に貼ってご協力くださいる方を募集しております。（ロシナンテス日本事務局／093・521・6470）

カレンダー価格1,200円
卓上カレンダー12枚組（1月～12月）
サイズH130mm×W250mm、オリジナル土台付き
★カレンダー使用後はポストカードとして使えます。



ロシナンテス支援者様からのメッセージ



「遠回りこそが一番の近道」
鎌田 克巳さん
埼玉県入間市在住

川原さんは『目の前の困っている人を見て助けてあげたいと思っただけ』。他の国の方が困っているとかそういう事はわからない。そこにごく自然な究極の優しさを感じます。私も川原さんと出会って応援したくなっただけ。NPOなんて山ほどあるけれど他の事はわからない。それでいいんだと思います！

ある統計によると世界中の飢餓を救える金額よりも世界中の化粧品の売上額の方がはるかに大きいそうです。私もノ一天気な日本人ですが、せめて戦争や内戦だけは無くして欲しいです。医療をそこまで広げて考える川原さんと現地スタッフの皆様、そして震災で傷を負った人々に寄り添う大島さん始めスタッフの皆様を、これからも想像力をフル回転させて応援し続けます！



「きっかけのロシナンテス」
山本 明日香さん
福岡県福岡市在住

私とロシナンテスとの出会いは、高校卒業直後の春でした。高校二年生の修学旅行で東北を訪れて以来、何か自分にできることはできないと考えていた頃「集え！in 福岡」で川原さんの講演を初めてお聞きして、「なんてぶつ飛んだ方なんだろう！」と思ったことを、今でもよく覚えてています。それから「東北のために何かしたい」という想いが強くなり、学生団体「このゆび」で活動を始めました。その頃はまさか自分が「このゆび」の代表になるとは思ってもいませんでした。思い返せば今の自分があるのも、ロシナンテスのおかげです。

「このゆび」は、何かしたいと思った人にきっかけを提供する場づくりを主な活動としています。ロシナンテスが私にしてくれたように、私も人々にきっかけを与えられる存在を目指します。

募金箱設置は日本事務局まで
お問い合わせください。



品川イーストクリニック
東京都港区港南2・15・2 品川イン
ターシティB棟2階

この小さな募金箱の中には「ひとりはみんなの為に：」
そう願う皆様の温かい気持ち
がたくさん詰まっています。
みんなの思いが誰かの笑顔を作
る。そんなステキな宝箱だ
と思っています。



募金箱には手作りポップでロシナンテスの紹介も！

6月までスーダンの巡回診療を担当していました。スーダンではシャルガニール地方の素敵なスタッフを初め多くの人と出会いうことができました。出会いとつながりの大切さをロシナンテスで教えていただきました。現在は地域医療の現場で日々格闘していますが、その中でも人とのつながりを大切にしていきたいと思います。



巡回診療・看護師
神木 英里

日本事務局スタッフ紹介

山本 明子



ロシナンテス2年生。
よろしくお願いします！

塙田 愛



二児の母です。
宜しくお願いします。



スーダン事業部総務
武繁 政昭

募金箱の設置にご協力をお願いします

ロシナンテスの募金箱を置いていただける、お店・病院・会社などなどを募集しています！

あなたとあなたの地域やお客様のお力を貸してください！ロシナンテスの募金箱を多くの場所に設置していただき、スーダンや東北の方々への支援の輪が少しでも広がっていくことを願っています。

まずは日本事務局へご連絡ください！

事務局だより

ロシナンテス日本事務局の宮崎です。別稿にあるとおり、先日大騒ぎの引っ越し劇を経て事務局を移転しました。

今までの事務局は、自動車のショールームから肝心の自動車を追い出したスペースがありました。まさに『庇を貸して~』という諺そのものだったと思います。

このような居候を長年暖かく見守り、共に歩み、時には叱咤激励下さった(株)大和興業の皆様には感謝の言葉しかありません。

新事務所への移転はロシナンテスの新たな歩みの第一歩です。まだまだ独り立ちには程遠い私たちですが、多くの皆様と共に歩み、支えられてここまで来ている事への感謝を忘れず、今後ともスーダン・東北で活動を進めてまいります。

これからもロシナンテスへのご支持ご支援をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

ロシナンテス日本事務局が、この10月に移転しましたのは、記事中にあるとおりです。築30年のビルとは思えない清潔感あふれる事務所です。海原さんの事務所で何不自由なかったものの、ロシナンテスの活動拡大に伴い、手狭になってきた問題が、充分、解消できています。しかし、移動してきた中身(スタッフおよび仕事内容)は変わらはずありません。それだけに、新天地で、昨日より今日、今日より明日、結果を伴う作業が出来ますことを、関係者の一人として願っております。編修子

私たちNPO法人ロシナンテスの名前の由来は、小説「ドンキホーテ」に出てくるドンキホーテの乗る瘦せ馬のロシナンテから来ています。「私たち一人一人は瘦せ馬ロシナンテのように無力かもしれない、しかし、ロシナンテが集まり、ロシナンテスになれば、きっと何かできるはずだ!と考え、「ロシナンテス」と名付けました。

今後もこれを信念として一歩一歩進んでいきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願い致します。

ロシナンテスの活動支援のお願い

同封の「払込取扱票」にて

郵便局窓口よりご利用頂けます。

[口座記号]01720-3 [口座番号]74330

[加入者名]NPO法人ロシナンテス

[店名]一七九

HPよりクレジットカード決済でのご支援も可能です。

車と保険のダイワ

自動車部	自動車販売・修理
保険部	損害保険・生命保険代理店
商事部	輸入商品販売等

株式会社 大和興業
〒802-0066
福岡県北九州市小倉北区萩崎町9番35号
TEL:093-921-8866

がんばれロシナンテス!

税理士法人
小城会計事務所

北海道旭川市東光8条1丁目1-1
TEL. 0166-31-2313



新事務所
認定NPO法人ロシナンテス日本事務局
TEL 093(521)6470
(電話受付・平日10時~17時・祝祭日を除く)
FAX 093(521)6471

川原の母校の校歌にもある「足立山」を一望できます。ぜひ一度、足をお運びください。心よりお待ちしております。

新事務局は交通の便がよく、

川原の母校の校歌にもある「足立山」を一望できます。ぜひ一

度、足をお運びください。心よりお待ちしております。

新事務局は交通の便がよく、</p